

平成 26 年 3 月 17 日

【東日本大震災から3年】

😊ホスピタル・クラウンが当院に来てくれました😊

～道化師の魔法で福島に笑顔を～

東日本大震災から3年を目前に控えた3月10日（月）、3人の「ホスピタル・クラウン」が当院にやってきました！

「ホスピタル・クラウン」とは、病院で活動するクラウン（道化師）のことです。クラウンは、日本では「ピエロ」という名前で親しまれており、普段はサーカスやステージなどでパフォーマンスをしているイメージをお持ちだと思います。

そのクラウンが、病院に現れて、患者さんに笑顔と笑いを届けるのがホスピタル・クラウンです。

今回、福島に笑顔を届けようと NPO 法人 日本ホスピタル・クラウン協会から3人のクラウンが来院されました。

まず病棟に向かったクラウンは、縦横無尽の動きで患者さんやお見舞いの方ひとりひとりにおもしろ可笑しく、そして優しく丁寧に接してくださいました。

バルーンアートや手品をはじめ、ティッシュペーパーでお花を作ってくれたり、冗談を飛ばしたりなど、病棟であることを忘れてしまうようなにぎやかで笑いの絶えない楽しく優しい時間をつくってくださいました。



↑ホスピタル・クラウンの3人
(左からKさん、がっこーさん、ONEさん)



←患者さんのベッドサイドでバルーンをつくってくださいました



★伊藤とし子看護部長もショーに飛び入り参加★

病棟をまわった後には、1階エントランスにて「ホスピタル・クラウンショー」を行ってくださいました。

大道芸の息をのむパフォーマンスや、観客参加型の皿回しなど、その場にいた全員がまさに道化師の魔法にかかり、童心にかえって心の底から楽しい時間を過ごすことができました😊

